

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が、飯田市や自分に無い知識や情報に触れること、そして、相手にない情報を発信する。	施策の成果指標又はムトス指標	都市間交流に参加している市民の割合(三遠南信・中京圏を除く)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	大学との積極的な交流・連携により、大学側からの専門的な提言や地域住民との意見交換、交流の機会が増加した。これにより市民が、大学の持つ専門的な知識や提言に触れ、また情報を発信する機会も増加し、施策の目的に貢献してきた。		
	後期に向けた課題	4年生大学が無いこの地域にとって、大学的な機能(大学連携コンソーシアム)を構築し、その機能を通じて更なる人材育成や人材サイクルの構築を図る必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	地域素材と人材を活用した体系的なカリキュラムを構築するとともに、報告会で学習成果を大学と住民とで共有する機会を作ってきた。また、東京大学と単位取得カリキュラム(2単位)を構築するなど、大学との連携を強めてきた。		
	後期に向けた課題	より大学側のニーズに対応したカリキュラムの構築をさらに進める必要がある。(学習テーマの組み立て方や大学教授の関わり方など)		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	大学との交流事業(フィールドスタディ)は、参加者負担を原則として実施している。大学連携コンソーシアムの構築に向けた、大学連携会議(学輪IIDA)やプロジェクト会議は、国からの交付金(「緑の分権改革」調査事業)を得つつ実施した。		
	後期に向けた課題	研究機関(しんきんシンクタンク)や南信州観光公社と連携・協働することで労力分散に努めるとともに、交付金等を積極的に獲得していく必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	大学との連携交流による成果を市民に還元していくことは、市民益につながっている。これは施策の目的達成に不可欠であり、受益者負担及び市の関与の程度も適切であったと判断する。また、大学側(研究者)として、当市の取組に貢献したいとの気運が高まってきた。		
	後期に向けた課題	大学連携コンソーシアムの構築に向けた市と研究機関(シンクタンク)等の役割分担。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体はフィールドスタディなど大学との連携・交流に関わる市民。フィールドスタディの講師や農家民泊の提供などを通じて、自ら情報を発信するとともに、市や自分に無い情報や知識に触れることで人材育成や地域づくりの役割を果たしている。 ②フィールドスタディなど大学との連携・交流の機会を通じて、大学と多様な主体(市民・団体)をつなげる。		
	後期に向けた課題	大学連携コンソーシアムを構築していくなかで、市民や団体など多様な主体との関わりをより深めていく必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	地域の資源や人材を活かした体系的なカリキュラムの構築や、東京大学での単位認定化などにより、この地に誘致した大学・学生は増加している。また、飯田大学連携会議(学輪IIDA)を発足させることができ、そのプロジェクト会議等を通じた取組が始まった。		
	後期に向けた課題	大学側のニーズに対応したカリキュラムの構築や、受け入れのシステム化に向けた庁内プロジェクト体制構築。 学輪IIDAプロジェクト会議などで提案された内容の可能性調査や具現化に向けた取組。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要があるかどうか	ない	対象や意図を修正する必要があるかどうか	ない	成果指標や指標値を修正する必要があるかどうか	ない
-----------------------	----	---------------------	----	------------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------